

# 平成17年度 高冷地水稻生育速報(第3報)

中山間農業技術研究所

## 1. 生育概況(6月21日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色		葉 齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	29.5 (94%)	440 (96%)	4.5 (-0.6)	37.5 (-3.4)	7.9 (+0.5)
	前年	31.8	415	5.1	40.6	7.2
	平年	31.3	457	5.1	40.9	7.4
コシヒカリ	本年	33.3 (101%)	342 (72%)	5.0 (+0.1)	39.6 (-0.3)	7.6 (+0.0)
	前年	32.7	475	5.0	39.9	7.2
	平年	33.0	478	4.9	39.9	7.6
たかやまもち	本年	29.8 (87%)	324 (68%)	4.9 (-0.1)	37.5 (-1.5)	7.4 (-0.4)
	前年	33.3	359	5.0	38.5	7.2
	平年	34.2	478	5.0	39.0	7.8
ひだほまれ	本年	37.0 (105%)	406 (103%)	4.4 (-0.5)	37.5 (+0.6)	8.1 (+0.4)
	前年	33.6	320	4.6	37.8	7.1
	平年	35.2	392	4.9	36.9	7.7

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m<sup>2</sup> 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a  
 平年値: 過去5年間の平均値  
 ( )内の数値は対平年値

## 2. 生育状況と当面の管理

### 1) 生育状況

梅雨期に入ったものの、降雨が少なく気温も高めで推移しているため、草丈の伸長及び茎数の増加が進んでいる。

「ひだほまれ」では草丈、茎数ともに平年を上回り、「ひとめぼれ」でもほぼ平年並みとなっている。また、「コシヒカリ」「たかやまもち」の両品種は茎数が少なく、初期生育の遅れから回復していない。

葉色は、全体に薄め(SPAD値が低め)で、特に「ひとめぼれ」「ひだほまれ」では前回調査時よりも値が低下しているので注意が必要である。

### 2) 病害虫等の発生状況

イネミズゾウムシ、イネハモグリバエ、イネツトムシに加え、ニカメイチュウ及びイネアオムシの被害が散見されるようになった。イネミズゾウムシ、イネハモグリバエの被害はすでに落ち着きつつあるが、ニカメイチュウ及びイネツトムシについては被害の拡大に注意したい。

イネドロオウムシ及び葉いもちの発生は、確認されていない。

### 3) 今後の管理

早期中干しをおこなっていない水田では、この快晴を利用して必ず実施したい。水管理は、深水を避けて間断灌水とし、早期中干しの効果を維持すること。

依然として生育が劣って見えるので追肥をしたくなるが、窒素肥料の追肥は当面見合わせる。

<参考> 前回調査時(6月14日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	23.0 (90%)	291 (95%)	5.1 (+0.1)	39.1 (+0.6)	6.5 (+0.3)
	前年	28.9	231	4.9	38.9	6.0
	平年	25.5	307	5.0	38.5	6.2
コシヒカリ	本年	27.2 (100%)	191 (61%)	4.8 (-0.1)	37.4 (+1.2)	6.3 (-0.1)
	前年	29.0	293	4.8	35.9	6.0
	平年	27.3	313	4.9	36.2	6.4
たかやまもち	本年	25.5 (90%)	164 (51%)	4.8 (-0.1)	35.3 (-1.7)	6.0 (-0.6)
	前年	29.2	238	4.8	35.5	6.1
	平年	28.2	323	4.9	37.0	6.6
ひだほまれ	本年	27.9 (99%)	266 (99%)	4.7 (+0.1)	38.5 (+3.5)	6.5
	前年	29.5	184	4.3	33.3	5.6
	平年	28.1	268	4.6	35.0	6.5

中山間農業技術研究所  
TEL 0577-73-2029  
FAX 0577-73-2751